

マイノリティとマジョリティのディスコミュニケーション研究会 (MMD研)

代表者:先端総合学術研究科一貫制博士課程3回生 森下摩利 教員責任者:小川さやか

◆研究会の概要

ディスコミュニケーション (コミュニケーションとして機能しているが、両者の平等が保てていない状態) の事例を通して、コミュニケーションとはどのような行為/現象なのかについて考えていきます。

聴者とうろう者、健常者と障害者 (盲ろう者・高次脳機能障害者など)、日本語母語話者と非日本語母語話者などのように多数派と少数派のコミュニケーションには方法や形態の異なりが存在します。そこでは、マジョリティ側の方法に強制させられたり、情報アクセスの制限や自分の思いや意見を述べる機会の減少など、マイノリティが抑圧されたりしてしまふことがあります。マイノリティとマジョリティのコミュニケーションにおいて、自己決定がどのようになされているのか、社会の構成員としてどのように主体的に参加しているのかを考えていきます。

◆勉強会

毎月行う研究会では、論文の構想、調査の方法、調査内容、調査の分析など、論文などにまとめるための相談・ディスカッションを行います。

2023年

4月:年間スケジュール作成・講師調整
5月:メンバーによる研究報告・発表 (ZOOM)
6月:メンバーによる研究報告・発表 (ZOOM)
7月:メンバーによる研究報告・発表 (ZOOM)
8月:輪読会 (1) (ZOOM) ろう文化について学習

10月:輪読会 (2) (ZOOM) 失語症について学習
12月:メンバーによる研究報告・発表 (ZOOM)

2025年

1月:メンバーによる研究報告・発表 (ZOOM)
2月:メンバーによる報告・発表 (ZOOM)

◆ゲスト招聘公開研究会

2024年11月17日13:00~15:00:小倉英郎先生講演 (ZOOM開催)

医療法人高幡会大西病院 国立病院機構高知病院アレルギー科 小児科医。
化学物質過敏症に関する治療と啓発に取り組む。

2024年度中:ろう文化に関する講演を実施予定 (オンライン開催未定)

ろう文化に係る講師をお招きして、講演会を実施する予定。

研究会の参加にご関心のある方: gr0583ph@ed.ritsumei.ac.jp (森下摩利)

